

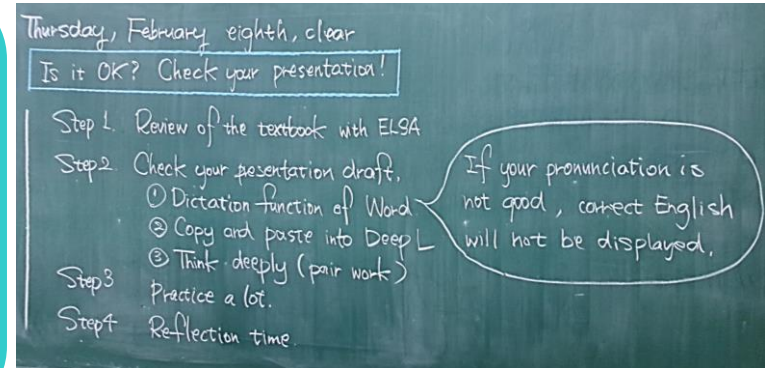
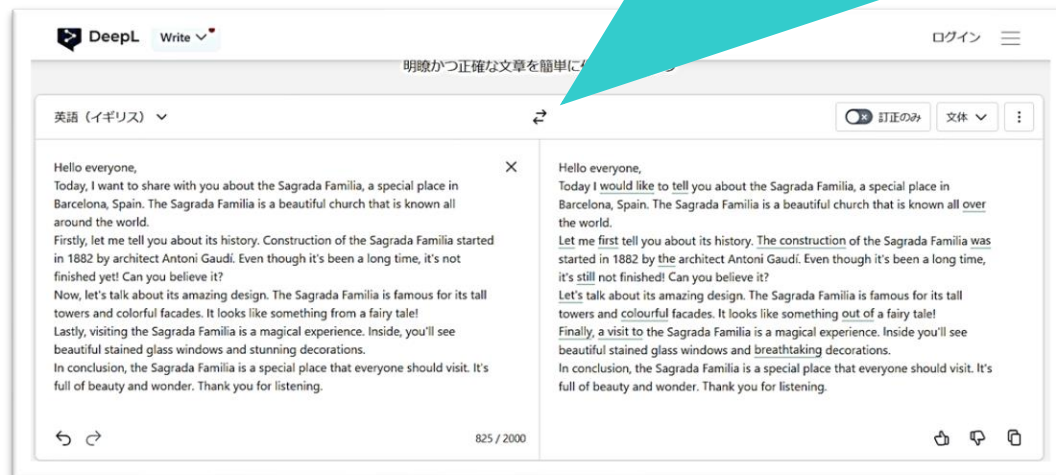
リーディングDXスクール事業【実践事例】

つくば市立並木中学校（茨城県）【指定校】

＜教育利用＞ ②英語科におけるDeep Lの活用

Deep Lでプレゼン原稿チェック

英作文の添削は、教師と生徒が正しい文法になるまで対話を重ねる必要があり、大変時間を要している。本単元では、自作した英文を音声で文字化し、Deep Lに貼り付けることで、生成AIからの提案を受けて、プレゼン原稿を完成させた。ここで、大事にしたいのは、生成AIからの提案を鵜呑みにしないことである。中学2年生の友達に伝わる英語であること、自分が言いたいことが伝わる表現なのかを考えること。また、文法的な指摘については、必ず辞書を引いて確認することを徹底した。



英作文の添削を生成AIができることは、働き方改革に繋がる。対話をしながら添削すると時間がかかり、教師が直してしまうと生徒の学びにならない…というのが英作文の課題であった。生成AIの「提案」に対して一緒に考えることができることで、生徒との有意義な関わりの時間が生まれた。生徒に問いかける時間が増えたことで、英語の表現の深さを生徒も生成AIからの「提案」を自分のものにすることができた。